

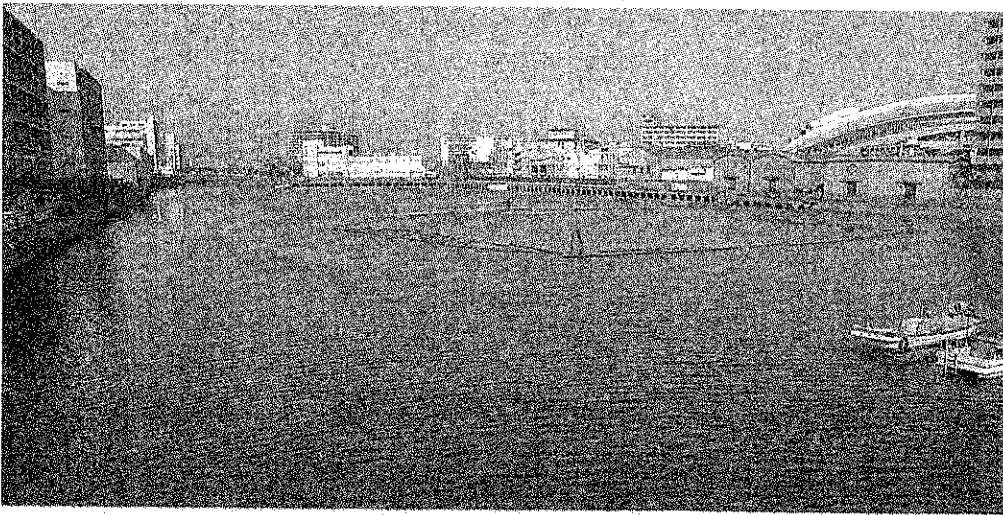
兵庫運河レガッタ「聖地」に

将来は「大会開催を」

兵庫運河をレガッタの「聖地」に。ボート愛好家がつくる「神戸市漕艇連盟」は十一日、兵庫運河に隣接する浜山小学校（兵庫区材木町）で、レガッタの練習用機械を使ってコンピュータ上で疑似レースを体験する「エルゴメータ大会」を開く。子どもたちにボート競技の楽しさを知ってもらおうのが狙い。兵庫運河は現在、木材などが浮かび、競技会を開ける状態ではないが、関係者は「将来は市民レガッタ大会の会場に」と意気込む。

（中川佳男）

兵庫運河は一八九九年が、トラック輸送に取っ
に完成。沿岸の工場の物で代わられるなど、その
資輸送などに使われた役目をほぼ終えている。



レガッタ競技会場としての利用が期待される兵庫運河
河川兵庫区浜中町1

市漕艇連盟 11日に催し レースを疑似体験

一方、市内にはレガッタの競技や練習場所がほとんどなく、愛好家らは加古川などに「遠征」を余儀なくされている。同連盟は兵庫運河に注目。競技会の開催には、コースの安全確保など課題が残るが、「まずは子どもたちにレガッタを知ってほしい」と、疑似レース大会を企画。昨年、市が募集した、まちづくりプランにも入選した。

エルゴメータは、レガッタの練習用機械。舟をコンピュータ上で動かして、コンピュータ上の船が動き、力の入れ方などでスピードが変わる。大会では三百円コースを使い、四人が対戦する。

午後一時～四時。無料。午前十一時からは、同連盟のメンバーが同校北側の運河に実際にボートを浮かべ、大会開催に向けた課題を探る。兵庫区まちづくり推進課0531

・00000